

令和4年度授業改善推進プラン

教科【保健体育】科

学習状況の実態・調査結果等を踏まえた内容別・観点別分析表

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習に取り組む態度は満足できる状況ではあるが、集中力を身に付けさせることが必要である。</li> <li>技能についてはよく努力している</li> <li>知識の理解力には個人差があるので、定着に時間が必要である。</li> <li>学習カードは、記入はするものの内容について質の向上が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習に取り組む態度は満足できる状況にある。</li> <li>思考・判断・表現は今後の課題である。</li> <li>自ら課題を見付ける力を身に付けることが授業改善の一つと考える。</li> <li>技能については、よく努力するが、男女共習のための課題設定に工夫が必要であった。</li> <li>知識の理解力には個人差があるので定着に時間が必要である。</li> <li>学習カードは、記入はするものの内容について質の向上が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習に取り組む態度は満足できる状況にある。</li> <li>思考・判断・表現は今後の課題である。</li> <li>自ら課題を見付ける力を身に付けることが授業改善の一つと考える。</li> <li>技能については、よく努力するが、男女共習のための課題設定に工夫が必要であった。</li> <li>知識はよく理解し、学習するので問題ない。</li> <li>学習カードの工夫・改善が必要である。</li> </ul>



指導方法の課題分析と具体的な授業改善及び補充指導の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎体力作りのための効果的な学習内容の構築と反復・継続指導が必要である。</li> <li>一斉、グループ指導の導入とその指導方法に課題がある。</li> <li>男女共習授業において、能力に応じた個別の指導に課題がある。</li> <li>学習カードの工夫・改善が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力の向上を図るために体力の全ての要素を組み合わせた運動を毎時間5分程度行う。</li> <li>一斉指導を主にしながら種目に応じてグループ学習を行う。その中で個の力を伸ばし、協調性を養わせる。</li> <li>自己評価や相互評価を生かして自己肯定感を育て、意欲的な態度へとつなげる。</li> <li>思考・判断・表現では、課題を生徒自身が個々に設定できるような学習活動を展開し、その課題を克服するための計画を立てていく。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟性・敏捷性・持久力を向上させる為の効果的な学習方法の構築と反復・継続指導が必要である。</li> <li>男女共習授業の課題設定とその指導方法に工夫・改善が必要である。</li> <li>仲間との関わりから技能を学ぶ方法に課題がある。</li> <li>能力に応じた個の指導に課題がある。</li> <li>学習カードの改善、表現力を身に付けさせるための指導に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟性・敏捷性・持久力を高める運動を組み合わせ毎時間5分程度行う。</li> <li>一斉指導を主にしながら種目に応じてグループ学習を行う。その中で個やチームの課題を発見させる。</li> <li>自己評価や相互評価を生かして技能を高める。練習内容の工夫や改善を指導する。</li> <li>課題克服に向けたICT機器の活用、ワークシートや学習カードなどの資料の改善をしていく。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟性・敏捷性・持久力を向上させるための効果的な学習方法の構築と反復・継続指導が必要である。</li> <li>男女共習授業の課題設定とその指導方法に工夫・改善が必要である。</li> <li>運動技能、特性を生かした指導とその発展について考え、実践していく必要がある。</li> <li>試合の進め方、審判などを通じた知識の定着、実践、応用を図るための指導に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟性・敏捷性・持久力を高める運動を組み合わせ毎時間5分程度行わせる。</li> <li>2年間の積み重ねを生かしルールやマナーを守らせた上で、グループ活動を多く行わせる。</li> <li>個々やグループに課題をもたせ、自ら解決できるような問いかけやアドバイスを行う。</li> <li>自己評価や相互評価を生かして技能を高めさせる。</li> <li>課題克服に向けたICT機器の活用、ワークシートや学習カードなどの資料の改善をしていく。</li> </ul>